

## タニウム、JR九州の導入事例を公開

### ～JR九州がグループ全体で Tanium を導入

### 約 1 万台のエンドポイントの一元管理、「サイバーハイジーン」を実現～

業界唯一の AI を活用した自律型エンドポイント管理（AEM）プラットフォームを提供するタニウム合同会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：原田英典、以下タニウム）は、九州旅客鉄道株式会社（本社：福岡県福岡市博多区、代表取締役社長執行役員：古宮洋二、以下 JR 九州）の Tanium Platform 導入事例を公開しました。



**ケーススタディ**

**「重要インフラ企業」としての責任  
JR九州が目指すセキュリティリスクの可視化と  
是正サイクル**

KYUSHU RAILWAY COMPANY

**九州旅客鉄道株式会社**

代表取締役社長  
古宮洋二 (2024年3月末現在)  
JR九州 567 人  
グループ 14,077 人

本報発行者  
福岡市博多区

導入ソリューション  
Tanium Core, Asset, Compl.,  
Deploy, Discover, Endorse, Patch,  
Performance, Protection

**Taniumの導入効果**

グループ全体の資産の一元管理を実現  
約1万台のエンドポイントのリスク可視化と是正サイクルの構築

グループ全体の資産の一元管理を実現し、約1万台のエンドポイントのリスクを可視化し、グループ全体でセキュリティ基盤の構築に取り組んでいる。

**DXを支えるデジタル人材の育成とIT基盤の整備**

デジタルスキルを磨き、人材だけでなく経営のありかきも刷新しました。グループ全体として、鉄道以外の事業の発展にも力を入れています。具体的な取り組みは、デジタル基盤整備推進、業務効率化、人材の育成と「人材の活用」がキーワードです。「オペレーション・インフラ」をキーワードに、業務効率化と人材育成の両面に取り組んでいます。ロードマップとしてデジタル基盤の活用で生産性を上げた社員を認定する「デジタルヒーロー認定制度」は、同社が事業会社でありながらデジタル基盤を主体に推進していることを示しています。

**セキュリティ被害を自分ごととして意識できた**

一方で多角化によりIT環境は複雑化し、セキュリティの確保に課題を抱えています。JR九州は2019年の不正アクセス事件を契機にグループ全体でセキュリティ基盤を強化しています。この取り組みでは「セキュリティに関する意識や対策を一元化することができた」と、デジタル基盤推進部 部長 三輪 利治は語ります。ところがセキュリティの確保は手段の高度化を続け、ついには「自分ごと」で意識する必要があると、三輪部長は語ります。この取り組みを通じて、三輪部長は「自分ごと」で意識するセキュリティ対策を続け、変化に備える姿勢を評価し、タニウムを導入して自分の仕事に貢献することになった。三輪部長は、タニウムを導入して自分ごととして意識することができ、いよいよエンドポイント管理ソリューションとしてTanium

九州旅客鉄道株式会社  
取締役 福岡市博多区  
代表取締役社長  
古宮洋二

導入事例の詳細：<https://www.tanium.jp/customers/jr-kyushu/>

## ■導入事例の概要

九州地方を中心に鉄道事業を展開する JR 九州は、新幹線や在来線の運営に加え、不動産、ホテル、外食、観光事業といった多角経営を推進。一方で多角化にともなって IT 資産は断片化し、状況把握の精度に課題を抱えていました。Tanium を活用して全グループのエンドポイントのリスクを可視化し、グループ全体でセキュリティ基盤の構築に取り組んでいます。

JR 九州グループの IT 資産約 1 万台を Tanium の導入により一元管理することで、すべてのエンドポイントの状態把握と是正サイクルの構築、ダッシュボードを使った正確で円滑なコミュニケーションが実現しました。

## ■タニウム合同会社 代表執行役社長 原田 英典 からのコメント



日本の重要インフラの一翼を担う JR 九州様のセキュリティ強化に貢献させていただき、このように事例記事を公開できたことを大変光栄に感じております。AI ツールの登場によりサイバー攻撃の量・頻度・スピードが劇的に上がっている昨今、Tanium Platform によるリアルタイムの状況把握と対処が、ますます重要性を増してくると確信しています。引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

### <タニウムについて>

Tanium Autonomous Endpoint Management (AEM) は、業界全体でエンドポイントをインテリジェントに管理するための最も包括的なソリューションを提供し、資産発見とインベントリ、脆弱性管理、エンドポイント管理、インシデント対応、リスクとコンプライアンス、デジタル従業員体験の機能を提供します。Tanium Platform は、Fortune 100 企業の 40%に導入され、世界中で 3,400 万のエンドポイント管理をサポートしています。効率的な運用と改善されたセキュリティ体制を、自信を持ってリアルタイムで提供します。The Power of Certainty™の詳細については、[www.tanium.jp](http://www.tanium.jp) をご覧いただき、[Facebook](#) と [X](#) でフォローしてください。

日本法人名 : タニウム合同会社  
グローバル代表 CEO : ダン・ストリートマン  
日本代表執行役社長 : 原田英典  
設立年 : 2007 年  
設立年 (日本) : 2015 年  
所在地 (日本オフィス) : 〒100-0004 東京都千代田区大手町 2 丁目 6-4 常盤橋タワー25F

事業内容 : 自律型エンドポイント管理のプラットフォーム提供  
U R L : <https://www.tanium.jp/>

<免責事項>

ここに記載されている情報は一般的な情報提供のみを目的としています。本情報は、当社が将来の製品、特徴、または機能を提供することについて確約、保証、申し出、および約束を行うものでも、法的義務を負うものでもありません。また、いかなる契約にも組み込まれることを意図しておらず、そのように見なされるものでもありません。最終的に提供される製品、特徴、または機能の実際の時期は記載されているものと異なる可能性があります。